2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名	株式会社 アマダ	上場取引所	東
コード番号	6113	URL	https://www.amada.co.jp
代表者	（役職名）代表取締役社長執行役員	（氏名）	山梨　貴昭
問合せ先責任者	（役職名）経営財務部門長	（氏名）	土本　浩司　（TEL）0463-96-1111
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年12月９日

決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（　証券アナリスト、機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	230,406	25.0	28,023	91.6	27,022	83.3	18,292	83.3	18,183	83.4
2026年３月期中間期	184,280	△0.1	14,622	△36.9	14,738	△33.1	9,979	△34.5	9,912	△34.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　15,317百万円（△24.2%）　2026年３月期中間期　20,197百万円（96.5%）

	基本的１株当たり中間利益	希薄化後１株当たり中間利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	59.04	―
2026年３月期中間期	31.02	―

（注）前中間連結会計期間において行われた企業結合に係る暫定的な会計処理が前連結会計年度末に確定しており、2026年３月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	749,435	525,383	520,721	69.5
2026年３月期	772,109	540,358	535,467	69.4

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	31.00	―	31.00	62.00
2027年３月期	―	32.00			
2027年３月期（予想）			―	32.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	490,000	12.0	58,000	29.5	40,000	30.9	131.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年３月期中間期	317,451,417株	2026年３月期	317,451,417株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	14,392,778株	2026年３月期	6,918,530株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年３月期中間期	307,965,903株	2026年３月期中間期	319,550,903株

（注）期末自己株式数には、役員報酬ＢＩＰ信託口が保有する当社株式を含めております（2027年３月期中間期660,493株、2026年３月期 158,100株）。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 7
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 8
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記 …… 9
（１）要約中間連結財政状態計算書 …… 9
（２）要約中間連結損益計算書 ……11
（３）要約中間連結包括利益計算書 ……12
（４）要約中間連結持分変動計算書 ……13
（５）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……14
（６）要約中間連結財務諸表に関する注記事項 ……15
（継続企業の前提に関する注記） ……15
（セグメント情報） ……15
３．補足情報 ……17
受注及び販売の状況 ……17

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループは、2026年５月に、2026年度から2030年度までの５年間を対象とする「中期経営計画2030」（スローガン：「Transform to AMADA 2030 ›› For Growth Acceleration ～変革を原動力に、新たな成長ステージへ～」）を策定し、公表いたしました。本計画の５年間を、前半２年の「変革・成長期（構造改革）」と後半３年の「成長加速期」に分け、環境変化に応じた進捗管理を行い、目標達成に向けて①構造改革（稼ぐ力の強化）、②経営基盤の強化、③事業ポートフォリオ経営、④事業成長を支える新商品展開、⑤「モノ売り」から「モノ×コト売り」への変革、⑥新規事業の創出・強化の６つの基本方針により、持続的な成長と企業価値の最大化に取り組んでいます。

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く環境は、中東情勢をはじめとする地政学的リスクの継続や、エネルギー高に伴うインフレ・金利の高止まりによる景気下振れ懸念など先行き不透明感が残るものの、ＡＩ関連投資の拡大が引き続き牽引するなど、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

このような中、当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は、売上収益は230,406百万円（前年同期比25.0％増）となりました。国内では、人手不足を背景とした自動化・省人化需要が底堅く推移したことにより、74,642百万円（前年同期比8.8％増）となりました。海外では、引き続きＡＩ・データセンター関連投資を中心に旺盛な需要が業績を牽引したことから、155,763百万円（前年同期比34.6％増）となりました。

営業利益は、増収効果や円安によるプラス影響に加え、米国関税の還付や製造合理化、価格転嫁などの取り組みが寄与し、28,023百万円（前年同期比91.6％増）となり、親会社の所有者に帰属する中間利益は18,183百万円（前年同期比83.4％増）となりました。

事業別・地域別の概況については、以下のとおりです。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同中間期との比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。

詳細につきましては「２．要約中間連結財務諸表及び主な注記　（６）要約中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」をご参照ください。

(事業別売上収益、営業利益の状況)

事　業　別	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
シートメタルソリューションズ					
売上収益	126,024	68.4	149,763	65.0	18.8
営業利益	10,736	―	22,566	―	110.2
ジョイニングテクノロジーズ					
売上収益	13,677	7.4	18,561	8.1	35.7
営業利益	854	―	2,657	―	210.9
カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジーズ					
売上収益	20,967	11.4	21,989	9.5	4.9
営業利益	2,134	―	2,909	―	36.3
アドバンスドフォーミングソリューションズ					
売上収益	19,868	10.8	22,233	9.6	11.9
営業利益	1,948	―	2,994	―	53.7
エレクトロニクスプロセス					
売上収益	3,140	1.7	17,274	7.5	450.1
営業損失(△)	△1,486	―	△3,588	―	―
その他（注）					
売上収益	602	0.3	583	0.3	△3.2
営業利益	435	―	484	―	11.2
調整額					
売上収益	―	―	―	―	―
営業利益	―	―	―	―	―
合計（連結）					
売上収益	184,280	100.0	230,406	100.0	25.0
営業利益	14,622	―	28,023	―	91.6

(注)　その他は、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等です。

① シートメタルソリューションズ

売上収益は149,763百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は22,566百万円（前年同期比110.2%増）となりました。

地域	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減率(%)
	売上収益(百万円)	構成比(%)	売上収益(百万円)	構成比(%)	
日本	42,496	33.7	47,391	31.6	11.5
海外	83,528	66.3	102,372	68.4	22.6
(北米)	(39,335)	(31.2)	(55,597)	(37.1)	(41.3)
(欧州)	(27,635)	(21.9)	(29,726)	(19.9)	(7.6)
(アジア他)	(16,557)	(13.2)	(17,048)	(11.4)	(3.0)
合計	126,024	100.0	149,763	100.0	18.8

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益です。（以下の表も同様。）

国内では、人手不足を背景とした自動化・省人化需要に加え、半導体製造装置やデータセンター、医療・物流・特装車など幅広い業界における設備投資需要が業績を牽引しました。海外では、北米でデータセンター需要が引き続き高水準で推移したことに加え、重機や防衛向け需要が堅調に推移したほか、欧州での防衛・航空宇宙向け、アジアでのデータセンター需要や生産移管の動きを取り込んだこと等により、売上収益は堅調に推移しました。

② ジョイニングテクノロジーズ

売上収益は18,561百万円（前年同期比35.7%増）、営業利益は2,657百万円（前年同期比210.9%増）となりました。

地域	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減率(%)
	売上収益(百万円)	構成比(%)	売上収益(百万円)	構成比(%)	
日本	2,789	20.4	3,583	19.3	28.5
海外	10,887	79.6	14,977	80.7	37.6
(北米)	(3,775)	(27.6)	(4,355)	(23.5)	(15.4)
(欧州)	(2,448)	(17.9)	(3,005)	(16.2)	(22.7)
(アジア他)	(4,663)	(34.1)	(7,616)	(41.0)	(63.3)
合計	13,677	100.0	18,561	100.0	35.7

国内では、データセンターや半導体製造装置、医療・分析機器向けの旺盛な需要が売上を牽引しました。海外では、北米でデータセンターに使われる高速光通信部品や電源設備向け抵抗溶接機の需要が伸長したほか、欧州で産業用電子部品や医療・航空宇宙向けの需要を取り込みました。加えて、アジア他で中国でのＡＩ関連機器・電子部品向けや、インドでの電動バイク向け投資の活発化も追い風となり、売上収益は堅調に推移しました。

③ カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジーズ

売上収益は21,989百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は2,909百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

地域	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減率(%)
	売上収益(百万円)	構成比(%)	売上収益(百万円)	構成比(%)	
日本	9,071	43.3	8,901	40.5	△1.9
海外	11,895	56.7	13,088	59.5	10.0
合計	20,967	100.0	21,989	100.0	4.9

国内では、半導体やデータセンター関連の設備投資需要が底堅く推移した一方、資材高騰や人手不足を背景とした建設市場の停滞を受け、切削マシンの売上収益は伸び悩みました。海外では、北米及び欧州において防衛・航空宇宙向け難削材対応超硬ブレードが引き続き堅調に推移したほか、中国を中心に半導体関連需要を着実に取り込んだ研削盤の売上収益が大きく伸長しました。

④ アドバンスドフォーミングソリューションズ

売上収益は22,233百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は2,994百万円（前年同期比53.7%増）となりました。

地域	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減率(%)
	売上収益(百万円)	構成比(%)	売上収益(百万円)	構成比(%)	
日本	12,507	62.9	12,536	56.4	0.2
海外	7,361	37.1	9,697	43.6	31.7
合計	19,868	100.0	22,233	100.0	11.9

国内では、人手不足に対応する自動化・省人化プレスラインに加え、エイチアンドエフとのシナジー（大型プレス向け周辺装置の展開）による自動車関連の大型ラインが売上収益に寄与しました。海外では、中国におけるＡＩ・通信関連向けや、ＡＳＥＡＮ、インドでの自動車部品関連が堅調に推移したことから、売上収益は前年同期比で増加しました。

⑤ エレクトロニクスプロセス

売上収益は17,274百万円（前年同期比450.1%増）、営業損失は3,588百万円（前中間連結会計期間は1,486百万円の営業損失）となりました。

地域	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減率(%)
	売上収益(百万円)	構成比(%)	売上収益(百万円)	構成比(%)	
日本	1,113	35.5	1,649	9.6	48.1
海外	2,026	64.5	15,624	90.4	671.0
合計	3,140	100.0	17,274	100.0	450.1

国内外でのＡＩ・データセンター向けパッケージ基板の需要増加等を背景に、前年度第４四半期以降の旺盛な受注に伴う受注残高の売上計上に加え、前年同期との連結期間の違い（前年同期は３ヵ月間）もあり、売上収益は大幅に増加しました。

なお、各部門別の状況を合算した主要地域の状況は以下のとおりです。

(地域別売上収益の状況)

地　　域	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日　　本	68,575	37.2	74,642	32.4	8.8
海　　外	115,705	62.8	155,763	67.6	34.6
(北米)	(51,714)	(28.1)	(68,927)	(29.9)	(33.3)
(欧州)	(34,070)	(18.5)	(38,340)	(16.6)	(12.5)
(アジア他)	(29,919)	(16.2)	(48,495)	(21.1)	(62.1)
合　　計	184,280	100.0	230,406	100.0	25.0

（２）財政状態に関する説明

財政状態の概要及び分析は以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間末 (2026年９月30日)	増減
流動資産（百万円）	498,034	486,560	△11,474
非流動資産（百万円）	274,074	262,875	△11,199
総資産（百万円）	772,109	749,435	△22,673
負債（百万円）	231,751	224,052	△7,698
資本（百万円）	540,358	525,383	△14,975
親会社所有者帰属持分比率	69.4%	69.5%	0.1%pt

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ22,673百万円減少し、749,435百万円となりました。これは、主に自己株式の取得に伴う現金及び現金同等物の減少によるものです。流動資産も同様の要因により、11,474百万円減少の486,560百万円となりました。また、非流動資産は、主に有形固定資産の減価償却の進行や有形固定資産の売却及び売却目的で保有する資産への振替などにより、11,199百万円減少の262,875百万円となりました。

負債は、借入金の返済などにより、前連結会計年度末と比べ7,698百万円減少の224,052百万円となりました。資本は、主に自己株式の取得により、14,975百万円減少の525,383百万円となり、これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末と比べ69.4%から69.5%と0.1%pt増加しました。

連結キャッシュ・フローの区分別状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加や前期の利益に応じた法人税の支払いが生じたものの、税引前中間利益の獲得や営業債権及びその他の債権の回収が進んだことなどにより、24,782百万円の収入（前年同期は、21,674百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払い戻しなどにより、1,986百万円の収入（前年同期は、26,305百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得により、36,321百万円の支出（前年同期は、31,328百万円の収入）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ9,712百万円減の143,913百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績に加え、足元では旺盛な設備投資需要を背景に受注が好調に推移していること、また、為替が想定より円安に推移していることから、売上収益の増加が見込まれることなどを勘案し、2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

予想の前提となる第３四半期連結会計期間以降の主要為替レートは、１米ドル＝150.00円、１ユーロ＝175.00円を想定しており、通期の平均レートは、１米ドル＝154.69円、１ユーロ＝179.67円となります。

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的１株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	460,000	48,000	34,000	109.49
今回修正予想（B）	490,000	58,000	40,000	131.99
増減額（B－A）	30,000	10,000	6,000	－
増減率（%）	6.5	20.8	17.6	－
(ご参考)前期実績（2026年３月期）	437,372	44,798	30,554	96.67

なお、上記の予想数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	153,626	143,913
営業債権及びその他の債権	158,052	148,158
棚卸資産	157,746	166,927
その他の金融資産	10,682	8,705
その他の流動資産	17,602	17,817
小計	497,709	485,523
売却目的で保有する資産	324	1,036
流動資産合計	498,034	486,560
非流動資産		
有形固定資産	182,199	173,861
のれん	31,104	31,020
無形資産	24,184	22,419
持分法で会計処理されている投資	951	1,118
その他の金融資産	10,879	9,186
繰延税金資産	16,044	16,504
その他の非流動資産	8,710	8,765
非流動資産合計	274,074	262,875
資産合計	772,109	749,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	51,809	51,362
借入金	72,800	69,235
未払法人所得税	12,910	9,186
その他の金融負債	3,703	3,204
引当金	4,412	5,555
その他の流動負債	51,489	54,590
流動負債合計	197,125	193,134
非流動負債		
借入金	8,000	7,000
その他の金融負債	11,999	11,274
退職給付に係る負債	5,449	5,433
引当金	175	174
繰延税金負債	3,848	2,399
その他の非流動負債	5,153	4,636
非流動負債合計	34,625	30,918
負債合計	231,751	224,052
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	83,588	83,586
利益剰余金	339,023	347,578
自己株式	△11,791	△32,133
その他の資本の構成要素	69,878	66,920
親会社の所有者に帰属する持分合計	535,467	520,721
非支配持分	4,891	4,661
資本合計	540,358	525,383
負債及び資本合計	772,109	749,435

（２）要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	184,280	230,406
売上原価	△107,820	△133,136
売上総利益	76,459	97,269
販売費及び一般管理費	△62,454	△68,881
その他の収益	801	1,325
その他の費用	△184	△1,690
営業利益	14,622	28,023
金融収益	980	829
金融費用	△992	△1,999
持分法による投資利益	127	168
税引前中間利益	14,738	27,022
法人所得税費用	△4,758	△8,730
中間利益	9,979	18,292
中間利益の帰属		
親会社の所有者	9,912	18,183
非支配持分	67	108
中間利益	9,979	18,292
１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益(円)	31.02	59.04
希薄化後１株当たり中間利益(円)	－	－

（３）要約中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間利益	9,979	18,292
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	3,734	229
項目合計	3,734	229
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	6,493	△3,218
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融資産	0	0
持分法によるその他の包括利益	△11	13
項目合計	6,482	△3,204
その他の包括利益合計	10,217	△2,975
中間包括利益	20,197	15,317
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	19,856	15,228
非支配持分	340	88
中間包括利益	20,197	15,317

（４）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								非支配持分	資本合計
					その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計	合計	
2025年４月１日残高	54,768	101,635	323,203	△10,106	1,690	47,988	33	49,711	519,212	4,537	523,750
中間利益	―	―	9,912	―	―	―	―	―	9,912	67	9,979
その他の包括利益	―	―	―	―	3,734	6,221	△11	9,944	9,944	272	10,217
中間包括利益	―	―	9,912	―	3,734	6,221	△11	9,944	19,856	340	20,197
配当金	―	―	△9,963	―	―	―	―	―	△9,963	△234	△10,198
株式報酬取引	―	22	―	―	―	―	―	―	22	―	22
自己株式の取得	―	―	―	△7,716	―	―	―	―	△7,716	―	△7,716
自己株式の処分	―	0	―	0	―	―	―	―	0	―	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	―	―	5,161	―	△5,161	―	―	△5,161	―	―	―
その他の増減	―	219	―	―	―	―	―	―	219	△45	174
所有者との取引額等合計	―	242	△4,802	△7,715	△5,161	―	―	△5,161	△17,437	△279	△17,717
2025年９月30日残高	54,768	101,878	328,313	△17,822	263	54,209	21	54,494	521,632	4,598	526,230

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								非支配持分	資本合計
					その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計	合計	
2026年４月１日残高	54,768	83,588	339,023	△11,791	320	69,517	39	69,878	535,467	4,891	540,358
中間利益	―	―	18,183	―	―	―	―	―	18,183	108	18,292
その他の包括利益	―	―	―	―	229	△3,197	13	△2,954	△2,954	△20	△2,975
中間包括利益	―	―	18,183	―	229	△3,197	13	△2,954	15,228	88	15,317
配当金	―	―	△9,631	―	―	―	―	―	△9,631	△317	△9,949
株式報酬取引	―	54	―	―	―	―	―	―	54	―	54
自己株式の取得	―	―	―	△20,397	―	―	―	―	△20,397	―	△20,397
自己株式の処分	―	△56	―	56	―	―	―	―	0	―	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	―	―	3	―	△3	―	―	△3	―	―	―
所有者との取引額等合計	―	△1	△9,628	△20,341	△3	―	―	△3	△29,974	△317	△30,292
2026年９月30日残高	54,768	83,586	347,578	△32,133	547	66,319	53	66,920	520,721	4,661	525,383

（５）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	14,738	27,022
減価償却費及び償却費	11,051	11,646
株式報酬費用	22	54
金融収益及び金融費用	271	△144
持分法による投資利益	△127	△168
固定資産除売却損益	△7	△213
棚卸資産の増減	△11,967	△10,983
営業債権及びその他の債権の増減	19,688	8,323
営業債務及びその他の債務の増減	△3,128	79
退職給付に係る負債の増減	△116	△30
引当金の増減	△313	1,224
その他	△1,276	774
小計	28,835	37,583
利息の受取額	592	785
配当金の受取額	44	43
利息の支払額	△230	△636
法人所得税の支払額	△7,567	△12,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,674	24,782
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	12,279	2,427
有価証券の取得による支出	△4,000	－
有価証券の売却及び償還による収入	9,000	－
投資有価証券の取得による支出	△30	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,392	1,703
有形固定資産の取得による支出	△3,354	△1,486
有形固定資産の売却による収入	99	1,299
無形資産の取得による支出	△1,857	△1,747
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△49,866	－
その他	31	△207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,305	1,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	63,100	168
短期借入れの返済による支出	△1,689	△168
短期借入金の純増減額	111	△3,470
長期借入れの返済による支出	△10,678	△1,000
リース負債の返済による支出	△1,619	△1,507
自己株式の取得による支出	△7,716	△20,397
配当金の支払額	△9,945	△9,628
非支配持分への配当金の支払額	△234	△317
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,328	△36,321
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,805	△160
現金及び現金同等物の増減額	28,502	△9,712
現金及び現金同等物の期首残高	104,841	153,626
現金及び現金同等物の中間期末残高	133,344	143,913

（６）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

１．報告セグメントの情報

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	シートメタルソリューションズ	ジョイニングテクノロジーズ	カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジーズ	アドバンスドフォーミングソリューションズ	エレクトロニクスプロセス	その他	合計	調整額	要約中間連結財務諸表計上額
売上収益									
外部顧客からの売上収益	126,024	13,677	20,967	19,868	3,140	602	184,280	－	184,280
セグメント間の売上収益	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	126,024	13,677	20,967	19,868	3,140	602	184,280	－	184,280
セグメント利益又は損失(△)	10,736	854	2,134	1,948	△1,486	435	14,622	－	14,622
金融収益									980
金融費用									△992
持分法による投資利益									127
税引前中間利益									14,738

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、営業利益と調整を行っております。

３．前中間連結会計期間において行われた企業結合に係る暫定的な会計処理が前連結会計年度末に確定しており、前中間連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	シートメタルソリューションズ	ジョイニングテクノロジーズ	カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジーズ	アドバンスドフォーミングソリューションズ	エレクトロニクスプロセス	その他	合計	調整額	要約中間連結財務諸表計上額
売上収益									
外部顧客からの売上収益	149,763	18,561	21,989	22,233	17,274	583	230,406	―	230,406
セグメント間の売上収益	―	―	―	―	―	―	―	―	―
合計	149,763	18,561	21,989	22,233	17,274	583	230,406	―	230,406
セグメント利益又は損失(△)	22,566	2,657	2,909	2,994	△3,588	484	28,023	―	28,023
金融収益									829
金融費用									△1,999
持分法による投資利益									168
税引前中間利益									27,022

(注)　１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第１四半期連結会計期間の期首（2026年４月１日）から、市場環境の変化に迅速に対応するため、事業ごとの責任と権限を明確にする「ビジネスユニット（ＢＵ）制」を導入しました。

この組織再編に伴い、第１四半期連結会計期間より、従来、報告セグメントの「金属加工機械」に含めていた「板金部門」に係る事業は、一部事業を除き「シートメタルソリューションズ」へ、「微細溶接部門」に係る事業は、「板金部門」から除かれた一部事業を加えて「ジョイニングテクノロジーズ」へ、それぞれ名称を変更し、独立した報告セグメントとしております。同様に、従来「金属工作機械」に含めていた「切削・研削盤部門」及び「プレス部門」に係る事業は、それぞれ「カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジーズ」、「アドバンスドフォーミングソリューションズ」に名称を変更し、独立した報告セグメントとしております。加えて、従来「その他」に含めていた「ビアメカニクス株式会社及び子会社７社の事業」については、「エレクトロニクスプロセス」に名称を変更し、独立した報告セグメントとしております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

３.補足情報

受注及び販売の状況

１．受注状況

部門別	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)				当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)			
	受　注　高		受 注 残 高		受　注　高		受 注 残 高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
シートメタルソリューションズ	139,767	69.5	118,335	57.8	180,453	51.0	137,882	41.4
ジョイニングテクノロジーズ	15,381	7.7	13,358	6.5	21,788	6.2	16,400	4.9
カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジーズ	20,324	10.1	9,925	4.9	25,812	7.3	12,789	3.8
アドバンスドフォーミングソリューションズ	19,802	9.8	36,220	17.7	26,111	7.3	46,335	13.9
エレクトロニクスプロセス	5,313	2.6	26,795	13.1	98,954	28.0	119,957	36.0
その他	602	0.3	―	―	583	0.2	―	―
合　計	201,191	100.0	204,635	100.0	353,703	100.0	333,366	100.0

２．販売実績

部門別	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)		当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
シートメタルソリューションズ	126,024	68.4	149,763	65.0
ジョイニングテクノロジーズ	13,677	7.4	18,561	8.1
カッティングファブリケータ・グラインディングテクノロジーズ	20,967	11.4	21,989	9.5
アドバンスドフォーミングソリューションズ	19,868	10.8	22,233	9.6
エレクトロニクスプロセス	3,140	1.7	17,274	7.5
その他	602	0.3	583	0.3
合　計	184,280	100.0	230,406	100.0